

第3学年 家庭科（家庭分野）学習指導案

1 題材名

地域の人々との協働大作戦～いつまでも地域に残そう！！つながる場～

A（3）ア・イ

2 題材設定の理由

（1）題材について

予測が困難な時代と言われるこれからの社会においては、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要であると考えられる。本題材を貫く問いを「家族や地域の人々と関わり、協働するにはどうすればよいだろう」とし、地域との関わりにおける自分の問題を見だし、課題を設定し、主体的に地域の人々とともに問題解決に取り組む実践活動とした。そのため、地域との関わりにおける自分の問題を見だし、課題を設定し、地域の人々とともに問題解決に取り組む中で、人とつながり支え合うことの大切さを実感し、よりよい生活の実現に向けて、主体的に実践する生徒を育てていきたい。

（2）生徒の実態について

高齢者や地域の人々との関わりに関する事前アンケートでは、生徒 86%の家族に 65 歳以上の高齢者がおり、その中で 40%が同居しており関わる機会が多い。また、家族以外の高齢者や地域の人々とは、登下校の際に挨拶をしたり、部活動の指導や月 1 回の清掃活動などで交流したりするなど、地域の人々と密着して生活している。高齢者との関わりが身近な環境であることから、1 学年時の総合的な学習の時間で、高齢者や体が不自由な方の生活の特徴を知るために介護体験をしており、「中学生と高齢者の体の違いがわかりますか。」の問いに対して 77%が「よくわかる」、23%が「まあまあわかる」と回答しており、高齢者の身体的特徴を理解しているようだ。「高齢者と接する時の工夫がわかりますか。」という問いに対しても 90%の生徒がわかると回答している。「地域の人々とやってみたい活動があるか」という問いに対しては、89%は「ない」と答えた。このことから生徒が主体的に地域の人々と協働することや、生徒自らが問題を見だし、問題を解決する取り組みが十分にできていない現状があると考えられる。

（3）指導について

地域との関わりにおける自分の問題を見だし、課題を設定し、主体的に地域の人々とともに問題解決に取り組む実践活動とする。本時の授業の流れは、家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを確認し、問題を見だし、課題を設定することができるように指導する。

3 題材の目標

- 家族の互いの立場や役割、家族関係をよりよくできること、家族生活は地域との相互の関わり、高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について理解する。(知識及び技能)
- 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)
- 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

5 指導と評価の計画（全7時間）

時間	小題材名 ○ねらい ・主な学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 本時	○家族や地域の人々との関わりについて問題をみつけ課題を設定する。 ・家庭生活のアンケートや地域の現状アンケートなどから生活の課題を設定する。 ・家族や地域の人々との関わりについて問題点を挙げ、課題を設定する。		① 家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシート)	
2	○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解できるとともに、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫することができる。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 (ワークシート)		① 家族や高齢者など地域の人々との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 (活用シート)

	・ロールプレイングを通して家族関係をよりよくする方法について問題を見だし、課題を設定する。 ・自分と家族や地域の人々との関わりを図に表し、地域との関わりを理解する。			
3	○高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について理解する。 ・介助体験を振り返り、高齢者の身体的特徴や介助の方法についてまとめる。	・高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について理解している。		②家族や高齢者など地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (活用シート) (行動観察)
4	○高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について工夫することができる。 ・ゲストティーチャーの話や地域交流会の意見交換から高齢者との関わり方を考える。		②高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について工夫している。 (ワークシート)	
5	○高齢者など地域の人々と関わり、課題をもって「地域の人々との協働大作戦」の実践計画を工夫することができる。 ・地域の活動について、問題を見だし、課題を設定する。 「地域の人々との協働大作戦」の実践計画を立てる。		②高齢者など地域の人々と関わり、課題をもって「地域の人々との協働大作戦」の実践計画を工夫している。 (ワークシート)	③家族や高齢者など地域の人々との関わりについて、工夫し創造し実践しようとしている。 (活用シート) (行動観察)
6 7	○「地域の人々との協働大作戦」を振り返り、高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり、改善したりすることができる。 ・実践レポート発表会をして評価・改善をする。 ○題材を通して、家族や地域の人々と協力・協働し、これからどのように関わるとよいのかを考え、まとめることができる。 ・考えたことを発表し合い、互いのアドバイスを生かして、今後の実践活動についてまとめる。		③高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり、改善したりしている。 (ワークシート) (行動観察) ④家族や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 (ワークシート) (行動観察)	

6 本時の学習指導

(1) 目標

家族生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、家族や地域の人々と協力・協働し、よりよい家庭生活に向けて問題を見だし、課題を設定することができる。

(2) 展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 本時の学習課題を確認する。	○見通しをもって学習に取り組めるようにする。	
	家族や地域の人々との関わりについて問題を見だし、課題を設定することができる。		
15分	2 家庭生活のアンケートや地域の現状アンケートなどを確認する。	○アンケートなどから地域の人々との関わりについて問題があることに気付くようにする。	
15分	3 家族や地域の人々との関わりについて自分がやってみたいことを挙げ、グループで話し合う。	○地域の人々とやってみたいことを付箋に記入する。	
10分	4 課題を設定する。	○グループで話し合ったものを参考に課題を設定する。	・家族や地域の人々との関わりについて問題を見だして課題を設定している。
5分	5 本時の学習のまとめをする。		【思考・判断・表現】 話し合いの様子 ワークシート

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	家族や地域の人々との関わりについて問題を見だし、よりよい生活の実現にむけて、課題設定の理由を具体的に示し、課題を設定している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	昨年度、挙げられた問題や課題などの具体例を提示し課題を設定できるように配慮する。